

②観光交流室 指定管理者施設管理状況評価結果（各施設の総合評価）

<評価の視点>

- (1) 適正性の視点
法令等の遵守、安全性の確保、個人情報の保護など、法令や計画に基づき適正な管理が履行されているか
- (2) 有効性の視点
① 施設の設置目的の達成
施設目的に沿った事業の実施、施設管理が行われているか
② サービス向上の取り組み
市民サービス向上・市民の満足度の向上が図られているか
- (3) 効率性の視点
適正な管理によって経費の縮減が図られているか

- (1)~(3)の評価の視点(4項目)について、次の4段階で評価
- ・A 基準や目標を上回る優れた管理が行われている
 - ・B 適正な管理が行われている
 - ・C 概ね適正に管理されているが一部課題がある
 - ・D 協定等が遵守できていないなど、改善が必要である

総合評価

(1)、(2)①、(2)②、(3)の4項目の評価を踏まえ総合評価

- 【A】4項目のうち、2つ以上がAで、C、Dの評価がない
- 【B】4項目のすべてがB以上の評価（Aが1つ以下）
- 【C】4項目のいずれかにCが含まれる（D評価はない）
- 【D】4項目のいずれかにDが含まれる

No.	施設名	指定管理者	評価の視点				総合評価	施設所管課等	電話番号	頁	
			(1)	(2)	(3)						
			①	②							
1	いわき市石炭・化石館	一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー	B	B	B	B	B	・業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。 ・利用者アンケートの意見を反映させ、全職員が共通の認識を持ってサービス向上に努めている。	観光事業課	22-7480	1
2	ウッドピアいわき	一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー	B	B	B	B	B	・業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。 ・利用者アンケートの意見を反映させ、全職員が共通の認識を持ってサービス向上に努めている。	観光事業課	22-7480	3
3	いわき新舞子ハイツ	一般財団法人いわき勤労福祉事業団	B	B	B	C	C	・条例や協定に基づいた適正な管理運営が行われているものの、収支の適正化については依然として解決には至っていない状況である。	観光事業課	22-7480	5
4	いわき市勿来関文学歴史館	公益財団法人いわき市教育文化事業団	B	B	B	B	B	・業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。 ・利用者アンケートを実施し、サービス向上に努めている。	観光事業課	22-7480	7
5	いわき市海竜の里センター	海竜の里運営協議会	B	B	B	B	B	・業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。 ・利用者の安全確保のため、定期的に遊具の点検等を行っている。	観光事業課	22-7480	9
6	いわき市ライブいわきミュウじあむ	株いわき市観光物産センター	B	B	B	B	B	・業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。 ・利用者アンケートの意見を反映させ、全職員が共通の認識を持ってサービス向上に努めている。	観光事業課	22-7480	11
7	さはこの湯公衆浴場	一般財団法人いわき市公園緑地観光公社	B	B	B	C	C	・業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。 ・利用者のニーズ、苦情、トラブルに対して迅速に対応している。 ・本施設を取り巻く環境が変化していることを踏まえ、収支改善のための施策を検討し、実施していく必要がある。	観光事業課	22-7480	13

7施設 【A評価 該当なし、B評価 5施設、C評価 2施設、D評価 該当なし】

指定管理者による施設管理状況評価票（平成30年度の管理状況）

		所管部課	観光交流室	観光事業課
1 施設の概要				
(1) 施設名称	いわき市石炭・化石館			
(2) 根拠条例	いわき市石炭・化石館条例			
(3) 設置目的	石炭及び化石に関する資料の収集・保存及び展示をすることにより、市民の知識及び教養を高め、もって市民の福祉の向上に寄与する。			
(4) 施設概要	敷地面積 21,977.80㎡、延床面積 4,204.13 ㎡ 1階／化石展示室、模擬坑道、生活館、ホール、収蔵庫、事務室、会議室、倉庫、講堂、売店 2階／資料展示室			
2 指定管理者の概要				
(1) 指定管理者名称	(一社) いわき観光まちづくりビューロー			
(2) 指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日		非公募	
(3) 事業・業務概要（指定管理者の業務の範囲）	施設運営に関する業務、施設維持管理に関する業務、企画展、各種講座、体験イベントの開催、利用者の意見の把握、自主事業の実施、事業計画書及び事業報告書の作成、事故災害時の臨時報告等			
3 施設利用状況（施設利用者数・施設稼動状況等を記入）				
項 目		29年度	30年度	備 考
事業計画	入館者数	86,000	86,000	
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
実績	入館者数	84,004	87,703	平成23年7月20日再オープン
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
4 使用料・利用料・経費の推移（決算額）				
※その他の管理経費は、市が直接支出する修繕費等の額				
項 目		29年度決算 （指定管理者）	30年度決算 （指定管理者）	備 考
使用料				
使用料・利用料減免額				
利用料金収入				
委託料（指定管理料）		83,141,000	83,272,000	
その他事業収入				
収入計（円）		83,141,000	83,272,000	
人件費		29,644,211	34,423,627	
会議費		11,840	4,260	
食糧交際費		26,421	23,097	
旅費交通費		257,050	249,770	
通信運搬費		611,339	696,606	
什器備品類		0	0	
消耗品費		2,899,402	678,100	
修繕費		287,820	197,741	
印刷製本費		2,660,562	2,790,640	
光熱水費		13,185,066	13,770,258	
賃借料		2,735,958	2,773,004	
保険料		285,200	391,420	
催事費		0	0	
委託費		24,789,057	21,468,617	
負担金支出		104,000	101,000	
租税公課		2,436,342	2,816,622	
広告費		1,279,950	1,670,178	
幹旋手数料		707,569	674,635	
雑費		0	0	
商品原価		0	0	
その他		693,761	462,330	
法人税等充当額		0	0	
販売促進費		0	0	
被服費		453,252	78,980	
支出計（円）		83,068,800	83,270,885	
収 支（円）		72,200	1,115	
その他の管理経費（円）		0	0	

5 評価（平成30年度の状況）
<ul style="list-style-type: none"> A 基準や目標を上回る優れた管理が行われている B 適正な管理が行われている C 概ね適正に管理されているが一部課題がある D 協定等が遵守できていないなど、改善が必要である
(1) 適正性の視点
B 適正な管理が行われている <ul style="list-style-type: none"> ・ 条例、協定等の規定に基づき、適正に施設の運営が行われている。 ・ 指定管理者の経営状況は安定しており、安定的な施設管理が実施されている。
(2) 有効性の視点
①施設の設置目的の達成
B 適正な管理が行われている <ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展や体験教室など、多くの市民が参画する事業展開が図られ、市民の知識・教養の向上に寄与している。
②サービス向上の取り組み
B 適正な管理が行われている <ul style="list-style-type: none"> ・ 案内や受付係を接遇研修会に参加させ、接客サービスの向上に努めている。 ・ 利用者アンケートやボランティアへの聞き取りを行い、多様化する市民ニーズの対応に努めている。
(3) 効率性の視点
B 適正な管理が行われている <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアを活用して配置職員を最小限にし、人件費の縮減に努めている。
(4) 総合評価
B 適正な管理が行われている <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。 ・ 利用者アンケートの意見を反映させ、全職員が共通の認識を持ってサービス向上に努めている。
(5) 課題がある場合の今後の改善方法

指定管理者による施設管理状況評価票（平成30年度の管理状況）

		所管部課	観光交流室	観光事業課
1 施設の概要				
(1) 施設名称	ウッドピアいわき			
(2) 根拠条例	いわき市モデル木造施設条例			
(3) 設置目的	本市の豊富な木材資源の有効利用を図り、その需要の拡大に資するため			
(4) 施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木造一部二階建て 合掌組構造（テンション膜工法） 建築面積506.13㎡ 延床面積721.64㎡ 木材使用量約60㎡ ・休館日 毎月第3火曜日（当日が祝祭日の時はその翌日）及び1月1日 			
2 指定管理者の概要				
(1) 指定管理者名称	（一社）いわき観光まちづくりビューロー			
(2) 指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	非公募		
(3) 事業・業務概要（指定管理者の業務の範囲）	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令及び条例の規定を遵守し、適正な施設運営を行うこと。 ・利用者に対して適切なサービスの提供を行うこと。 ・石炭・化石館の施設、設備及び展示品等の維持管理を適切に行うこと。 ・当該指定管理者が業務に関連して取得した利用者の個人に関する情報を適切に管理するために必要な措置を講ずること。 			
3 施設利用状況（施設利用者数・施設稼動状況等を記入）				
項 目		29年度	30年度	備 考
事業計画	入館者数	50,000	50,000	
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
実績	入館者数	45,264	46,691	
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
4 使用料・利用料・経費の推移（決算額）				
※その他の管理経費は、市が直接支出する修繕費等の額				
項 目		29年度決算 （指定管理者）	30年度決算 （指定管理者）	備 考
使用料				市歳入
使用料・利用料減免額				
利用料金収入				
委託料（指定管理料）				委託料なし
その他事業収入				
収入計（円）		0	0	
人件費				
修繕費				
設備管理費				
保安警備費				
備品購入費				
消耗品費				
光熱水費				
保険料				
公租公課				
その他施設管理費				
支出計（円）		0	0	
収 支（円）		0	0	
その他の管理経費（円）		0	0	

<p>5 評価（平成30年度の状況）</p> <p>A 基準や目標を上回る優れた管理が行われている</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <p>C 概ね適正に管理されているが一部課題がある</p> <p>D 協定等が遵守できていないなど、改善が必要である</p>
<p>(1) 適正性の視点</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条例、協定等の規定に基づき、適正に施設の運営が行われている。 ・ 指定管理者の経営状況は安定しており、安定的な施設管理が実施されている。
<p>(2) 有効性の視点</p> <p>①施設の設置目的の達成</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展や体験教室など、多くの市民が参画する事業展開が図られ、市民の知識・教養の向上に寄与している。
<p>②サービス向上の取り組み</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 案内や受付係を接遇研修会に参加させ、接客サービスの向上に努めている。 ・ 利用者アンケートやボランティアへの聞き取りを行い、多様化する市民ニーズの対応に努めている。
<p>(3) 効率性の視点</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアを活用して配置職員を最小限にし、人件費の縮減に努めている。
<p>(4) 総合評価</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。 ・ 利用者アンケートの意見を反映させ、全職員が共通の認識を持ってサービス向上に努めている。
<p>(5) 課題がある場合の今後の改善方法</p>

指定管理者による施設管理状況評価票（平成30年度の管理状況）

		所管部課	観光交流室	観光事業課
1 施設の概要				
(1) 施設名称	いわき新舞子ハイツ			
(2) 根拠条例	いわき市いわき新舞子ハイツ条例			
(3) 設置目的	市民の余暇等を活用した健康の増進及び保養の機会の確保を図るとともに、本市の豊かな観光資源及び物産を広く紹介することにより、ゆとりのある市民生活のための利便の増進並びに本市の観光及び物産の振興の確立に資すること			
(4) 施設概要	1 宿泊保養施設（客室：33室、多目的ホール：4室、温泉浴室）			
2 指定管理者の概要				
(1) 指定管理者名称	（一財）いわき市勤労福祉事業団			
(2) 指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	公募		
(3) 事業・業務概要（指定管理者の業務の範囲）				
1 宿泊施設機能を利用した保養の場の提供に関する事業の実施				
2 体育施設機能を活用した健康の増進及び交流人口の拡大に関する事業の実施				
3 本市の観光資源及び物産の紹介並びに観光客の誘致に関する事業の実施				
4 いわき新舞子ハイツの使用に関する業務				
5 いわき新舞子ハイツの施設、設備、備品等の維持管理に関する業務				
6 条例等の規定により指定管理者が行うこととされている業務				
7 その他、いわき新舞子ハイツの管理に必要な業務				
3 施設利用状況（施設利用者数・施設稼働状況等を記入）				
項 目		29年度	30年度	備 考
事業 計画	宿泊者数（人）	19,120	19,880	
	その他施設利用者数（人）	64,710	71,940	
実績	宿泊者数（人）	13,268	14,266	
	その他施設利用者数（人）	65,483	59,194	
4 使用料・利用料・経費の推移（決算額）				
※その他の管理経費は、市が直接支出する修繕費等の額				
項 目		29年度決算 （指定管理者）	30年度決算 （指定管理者）	備 考
使用料				
使用料・利用料減免額				
利用料金収入		193,112,524	204,224,751	
委託料（指定管理料）				
その他事業収入		23,302,594	52,570,482	
収入計（円）		216,415,118	256,795,233	
原材料費		52,337,485	67,986,596	
管理諸費		122,578,101	119,146,085	
営業諸費		71,930,639	73,438,607	
租税公課費		6,826,350	5,453,650	
減価償却費		563,750	370,827	
固定資産除却費		0	774,101	
支出計（円）		254,236,325	267,169,866	
収 支（円）		-37,821,207	-10,374,633	
その他の管理経費（円）		0	0	

5 評価（平成30年度の状況）
<p>A 基準や目標を上回る優れた管理が行われている</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <p>C 概ね適正に管理されているが一部課題がある</p> <p>D 協定等が遵守できていないなど、改善が必要である</p>
(1) 適正性の視点
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条例・協定等の規定に基づき、適正に使用許可事務、設備・備品等の貸出が履行されている。 ・ 個人情報保護に関する内部規定を定めており、個人情報保護に対する体制が整っている。 ・ 指定管理者の経営状況は安定しており、安定的な施設管理が実施された。 ・ 業務仕様書の基準どおり、施設の保守管理、修繕、清掃、警備業務が適正に履行されている。 ・ 施設が老朽化しているが、日常の点検業務により、適正な安全確保が図られている。 ・ 指定管理者が行うべき修繕は適正に行われている。 ・ 災害、危機時の対応マニュアル等が整備されている。
(2) 有効性の視点
①施設の設置目的の達成
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設を広くアピールするイベント企画をはじめ、宿泊や宴会の誘客に対してのバック企画、格安優待プラン等を実施するなど積極的な誘客に努めるとともに、市民の余暇活用と健康増進施設としての目的達成に合わせ、職員一丸となってお客様の満足度向上に努めている。
②サービス向上の取り組み
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お客様目安箱を設置し、常に意見や要望を取り入れ改善に努め、サービス向上に努めている。
(3) 効率性の視点
<p>C 概ね適正に管理されているが一部課題がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水や節電等による、水道光熱費・原材料費や管理諸費の効果的な節減等に努めているが、収入が伸びず大幅な赤字経営となっている。
(4) 総合評価
<p>C 概ね適正に管理されているが一部課題がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条例や協定に基づいた適正な管理運営が行われているものの、収支の適正化については依然として解決には至っていない状況である。
(5) 課題がある場合の今後の改善方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成31年4月1日をもっていわき市勤労福祉事業団は解散され、今年度より、常光サービス(株)が新たに指定管理者となった。施設管理の分野において多くのノウハウを持つ常光サービスの指導のもと、同社に移籍した旧事業団職員を中心とした新舞子ハイツ事業部が施設運営にあたっている。新たな指定管理者のもと、本施設の運営に係る様々な課題の解決に取り組むとともに、各領域での改善を進めているところである。また併せて、担当課において、今後のあり方や利用料金制である本施設の適切な運営方法等について検討しているところである。こうした活動を通じて収支の適正化を始めとする諸課題の解決を図っていくものである。

指定管理者による施設管理状況評価票（平成30年度の管理状況）

		所管部課	観光交流室	観光事業課
1 施設の概要				
(1) 施設名称	いわき市勿来関文学歴史館			
(2) 根拠条例	いわき市勿来関文学歴史館条例			
(3) 設置目的	市民の勿来関に係る文学及び歴史についての知識及び教養の向上と観光事業に資するため。			
(4) 施設概要	敷地面積 5,111.205 m ² 、延床面積 809.45 m ² 1階／前室、ホール、資料展示室、トイレ、事務室、倉庫、休憩室、和室、売店、2階／ホール、資料展示室、特別展示室			
2 指定管理者の概要				
(1) 指定管理者名称	(公財) いわき市教育文化事業団			
(2) 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	公募		
(3) 事業・業務概要（指定管理者の業務の範囲）	施設運営に関する業務、施設維持管理に関する業務、企画展、各種講座、体験イベントの開催、利用者の意見の把握、自主事業の実施、事業計画書及び事業報告書の作成、事故災害時の臨時報告等			
3 施設利用状況（施設利用者数・施設稼動状況等を記入）				
項 目		29年度	30年度	備 考
事業計画	利用者数	10,000	10,000	
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
実績	利用者数	7,529	7,494	
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
4 使用料・利用料・経費の推移（決算額）				
※その他の管理経費は、市が直接支出する修繕費等の額				
項 目		29年度決算 (指定管理者)	30年度決算 (指定管理者)	備 考
使用料		1,745,370	1,515,100	
利用料金収入		0	0	
委託料（指定管理料）		38,652,000	32,909,000	
受取手数料		145	0	
雑収益		184,480	18,000	
収入計（円）		38,836,625	32,927,000	
人件費		25,106,641	16,306,239	
報償費		0	89,610	
福利厚生費		51,318	0	
旅費交通費		52,733	318,803	
交際費		68,907	0	
被服費		64,584	25,000	
新聞図書費		181,072	0	
消耗品費		628,152	1,093,549	
消耗備品費		137,700	798,876	
燃料費		67,154	6,147	
通信運搬費		264,173	685,225	
印刷製本費		1,743,486	1,283,635	
光熱水費		3,105,505	2,791,037	
修繕費		688,834	502,329	
手数料		2,764,050	35,270	
保険料		38,320	30,500	
委託料		1,378,454	4,516,720	
使用料及び賃借料		275,876	215,976	
負担金		66,000	31,000	
広告宣伝費		199,800	194,000	
雑費		5,000	14,432	
租税公課		1,960,094	1,333,837	
間接経費		0	1,568,000	
支出計（円）		38,847,853	31,840,185	
収 支（円）		-11,228	1,086,815	
その他の管理経費（円）		0	0	

5 評価（平成30年度の状況）
<ul style="list-style-type: none"> A 基準や目標を上回る優れた管理が行われている B 適正な管理が行われている C 概ね適正に管理されているが一部課題がある D 協定等が遵守できていないなど、改善が必要である
(1) 適正性の視点
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条例、協定等の規定に基づき、適正に施設の運営が行われている。
(2) 有効性の視点
①施設の設置目的の達成
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展や体験講座の開催に重点を置き、積極的に勿来関に係る文学及び歴史についての知識及び教養の向上に寄与している。
②サービス向上の取り組み
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケートを実施し、サービス改善に努めている。
(3) 効率性の視点
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空調器の温度管理による節電、節水等の省エネ対策を徹底させ、光熱水費の縮減に努めている。
(4) 総合評価
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。 ・ 利用者アンケートを実施し、サービス向上に努めている。
(5) 課題がある場合の今後の改善方法

指定管理者による施設管理状況評価票（平成30年度の管理状況）

		所管部課	観光交流室	観光事業課
1 施設の概要				
(1) 施設名称	いわき市海竜の里センター			
(2) 根拠条例	いわき市海竜の里センター条例			
(3) 設置目的	本市から産出される古生物の化石を活用し、地域の観光の拠点及び学習、レクリエーション等の場として、地域の活性化に資する。			
(4) 施設概要	敷地面積 15,571.42㎡、建築面積 679.33 ㎡ 屋内施設/太古の広場（展示室）、レストラン、物品販売コーナー、管理事務所 屋外施設/恐竜すべり台、小型恐竜模型、観覧車、ドラゴンコースター、パラトルーパー、多目的広場			
2 指定管理者の概要				
(1) 指定管理者名称	海竜の里運営協議会			
(2) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	非公募		
(3) 事業・業務概要（指定管理者の業務の範囲）	施設運営に関する業務、施設維持管理に関する業務、利用者の意見の把握、自主事業の実施、事業計画書及び事業報告書の作成、事故災害時の臨時報告等			
3 施設利用状況（施設利用者数・施設稼動状況等を記入）				
項 目		29年度	30年度	備 考
事業 計画	利用者数			
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
実績	利用者数	69,876	58,082	
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
4 使用料・利用料・経費の推移（決算額）				
※その他の管理経費は、市が直接支出する修繕費等の額				
項 目		29年度決算 (指定管理者)	30年度決算 (指定管理者)	備 考
使用料		7,966,600	6,881,600	
使用料・利用料減免額				
利用料金収入				
委託料（指定管理料）		22,634,000	22,634,000	
雑収入		121,250	119,636	
繰越金		1,408,435	1,226,920	
収入計（円）		24,163,685	23,980,556	
人件費		12,889,800	13,258,050	
福利厚生		1,188,854	1,134,844	
通信費		54,847	50,142	
光熱水費		2,059,051	2,166,504	
使用料		32,269	31,928	
修繕費		879,732	219,240	
備品費		665,000	75,600	
消耗品費		169,884	111,625	
委託料		3,810,072	3,245,592	
印刷費		169,590	0	
旅費		121,250	103,850	
支払手数料		12,096	12,096	
租税公課費		884,280	895,230	
支出計（円）		22,936,725	21,304,701	
収 支（円）		1,226,960	2,675,855	
その他の管理経費（円）		0	0	

5 評価（平成30年度の状況）
<ul style="list-style-type: none"> A 基準や目標を上回る優れた管理が行われている B 適正な管理が行われている C 概ね適正に管理されているが一部課題がある D 協定等が遵守できていないなど、改善が必要である
(1) 適正性の視点
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条例、協定等の規定に基づき、適正に施設の運営が行われている。
(2) 有効性の視点
①施設の設置目的の達成
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の観光の拠点として地域の活性化に役立っている。
②サービス向上の取り組み
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊戯施設の無料開放や季節イベントの開催によって利用促進を図っている。
(3) 効率性の視点
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装、草刈、樹木の剪定、清掃等は職員が行い、経費削減を図っている。 ・ 空調機の温度管理による節電、及び節水等の省エネ対策を徹底させ、光熱水費の削減に努めている。
(4) 総合評価
<p>B 適正な管理が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。 ・ 利用者の安全確保のため、定期的に遊具の点検等を行っている。
(5) 課題がある場合の今後の改善方法

指定管理者による施設管理状況評価票（平成30年度の管理状況）

		所管部課	観光交流室	観光事業課
1 施設の概要				
(1) 施設名称	いわき市ライブいわきミュウじあむ			
(2) 根拠条例	いわき市ライブいわきミュウじあむ条例			
(3) 設置目的	本市の豊かな観光資源及び物産を総合的に紹介し、併せて本市の文化、都市交流等に関する知識の普及を図ることにより、観光及び物産の振興並びに地域文化の確立に資する。			
(4) 施設概要	延床面積 594.58㎡（いわき・ら・ら・ミュウ2階の一部） 内容／民芸品展示コーナー、工芸品展示コーナー、祭・郷土芸能コーナー、都市交流コーナー、クルージングシアター、マルチメディア観光ガイドなど			
2 指定管理者の概要				
(1) 指定管理者名称	（株）いわき市観光物産センター			
(2) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	非公募		
(3) 事業・業務概要（指定管理者の業務の範囲）	施設運営に関する業務、施設維持管理に関する業務、企画展、各種講座、体験イベントの開催、利用者の意見の把握、自主事業の実施、事業計画書及び事業報告書の作成、事故災害時の臨時報告等			
3 施設利用状況（施設利用者数・施設稼働状況等を記入）				
	項 目	29年度	30年度	備 考
事業 計画	利用者			
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
実績	利用者	323,177	334,003	
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
4 使用料・利用料・経費の推移（決算額）				
※その他の管理経費は、市が直接支出する修繕費等の額				
	項 目	29年度決算 （指定管理者）	30年度決算 （指定管理者）	備 考
	使用料			
	使用料・利用料減免額			
	利用料金収入	0	0	
	委託料（指定管理料）	40,938,000	40,938,000	
	その他事業収入			
	収入計（円）	40,938,000	40,938,000	
	人件費	14,441,000	14,441,000	
	旅費	121,000	121,000	
	消耗品費	5,000,000	5,000,000	
	燃料費	21,000	21,000	
	光熱費	1,704,000	1,704,000	
	修繕費	300,000	300,000	
	通信運搬費	117,000	117,000	
	手数料	19,000	19,000	
	広告費	825,000	825,000	
	保険料	367,000	367,000	
	委託費	868,000	868,000	
	使用料及び賃借	104,000	104,000	
	備品購入費	375,000	375,000	
	負担金補助及び交付金	13,644,000	13,644,000	
	消費税	3,032,000	3,032,000	
	支出計（円）	40,938,000	40,938,000	
	収 支（円）	0	0	
	その他の管理経費（円）	0	0	

<p>5 評価（平成30年度の状況）</p> <p>A 基準や目標を上回る優れた管理が行われている</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <p>C 概ね適正に管理されているが一部課題がある</p> <p>D 協定等が遵守できていないなど、改善が必要である</p>
<p>(1) 適正性の視点</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <p>・ 条例、協定等の規定に基づき、適正に施設の運営が行われている。</p>
<p>(2) 有効性の視点</p> <p>①施設の設置目的の達成</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <p>・ 多くの企画展や体験イベントなどを開催し、市民に対し本市の文化に関する知識の普及に寄与している。</p>
<p>②サービス向上の取り組み</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <p>・ 利用者アンケートを実施し、サービス向上に反映させている。</p> <p>・ 利用者に最新の観光情報を提供できるよう、職員が積極的に情報収集を行い、観光マニュアルを作成している。</p>
<p>(3) 効率性の視点</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <p>・ 適正な人員配置により、人件費の削減を図っている。</p> <p>・ 空調機の温度管理による節電、及び節水等の省エネ対策を徹底させ、光熱水費の削減に努めている。</p>
<p>(4) 総合評価</p> <p>B 適正な管理が行われている</p> <p>・ 業務仕様書に基づき、適正な管理が行われている。</p> <p>・ 利用者アンケートの意見を反映させ、全職員が共通の認識を持ってサービス向上に努めている。</p>
<p>(5) 課題がある場合の今後の改善方法</p>

指定管理者による施設管理状況評価票（平成30年度の管理状況）

		所管部課	観光交流室	観光事業課
1 施設の概要				
(1) 施設名称	さはこの湯公衆浴場			
(2) 根拠条例	いわき市さはこの湯公衆浴場条例			
(3) 設置目的	恵まれた温泉資源を生かし、市民の健康の維持増進及び地域の振興に資する。			
(4) 施設概要	敷地面積 850.55 m ² 、延床面積 878.6 m ² 地下1階/機械室、1階/大浴室（幸福の湯・宝の湯）、身障者用浴室（長寿の湯）、各更衣室、ロビー、フロント、事務室、トイレ、エレベーター1基、2階/温泉資料展示コーナー、更衣室、マッサージ室、トイレ、機械室、3階/大広間、ロビー、湯沸室、トイレ、機械室			
2 指定管理者の概要				
(1) 指定管理者名称	（一財）いわき市公園緑地観光公社			
(2) 指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	公募		
(3) 事業・業務概要（指定管理者の業務の範囲）	施設運営に関する業務、施設維持管理に関する業務、利用者の意見の把握、自主事業の実施、事業計画書及び事業報告書の作成、事故災害時の臨時報告等			
3 施設利用状況（施設利用者数・施設稼動状況等を記入）				
	項 目	29年度	30年度	備 考
事業計画	利用者数	170,000	170,000	
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
実績	利用者数	168,521	154,516	
	稼働率（利用日数/利用可能日数）	100.0%	100.0%	
4 使用料・利用料・経費の推移（決算額）				
※その他の管理経費は、市が直接支出する修繕費等の額				
	項 目	29年度決算 (指定管理者)	30年度決算 (指定管理者)	備 考
	使用料			
	使用料・利用料減免額			
	利用料金収入	39,861,819	36,242,357	
	委託料（指定管理料）	0	0	
	その他事業収入	142,138	130,226	
	収入計（円）	40,003,957	36,372,583	
	仕入額	6,322,596	6,081,933	
	人件費	10,497,656	10,441,270	
	報償費	0	0	
	福利厚生費	60,600	60,998	
	旅費交通費	0	0	
	交際費	17,647	8,892	
	被服費	32,000	24,000	
	新聞図書費	19,029	0	
	消耗品費	873,017	567,891	
	消耗備品費	77,760	101,272	
	燃料費	0	0	
	通信運搬費	143,272	138,554	
	印刷製本費	64,800	64,800	
	光熱水費	8,403,441	7,933,885	
	修繕費	511,002	135,540	
	手数料	1,572,254	1,553,542	
	保険料	226,520	226,460	
	委託料	10,951,412	11,915,856	
	使用料及び賃借料	91,750	91,750	
	負担金	10,000	10,000	
	広告宣伝費	181,980	144,180	
	販売促進費	12,046	10,660	
	雑費	8,800	9,000	
	租税公課	780,979	543,764	
	雑損益	5,850	223,310	
	減価償却費	1,959	1,641	
	支出計（円）	40,866,370	40,289,198	
	収 支（円）	-862,413	-3,916,615	
	その他の管理経費（円）	0	0	

